

新・大阪府豊かな海づくりプラン 進捗状況

大阪府環境農林水産部水産課

令和2年度大阪府豊かな海づくりプラン推進懇話会（令和3年3月23日）

新・大阪府豊かな海づくりプラン

位置づけ

- 水産基本法、水産基本計画（H24.3変更）を踏まえ策定
- 府民及び漁業者アンケート結果を反映させ策定

計画期間

- 平成27年4月1日策定
- 平成27～令和6年度（10年間）
- 令和2年3月で策定後満5年を経過したため、SDGs等を踏まえた中間見直しを実施。

進行管理

- 大阪府豊かな海づくりプラン推進懇話会にて毎年度進捗状況を報告し、意見を求める

プランの目標

**「はま」が潤い、豊かな恵みを
「まち」に届ける海づくり**

「はま」（漁業地区）の生活が豊かになり活性化するとともに、
「まち」においても豊かな生活の実現をめざすもの

目標を実現するための取組方向及び主な施策

「はま」が潤う！

「まち」に届ける！

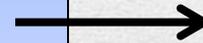
① 海や川の環境を豊かにする



(主な施策・全32施策)

漁場整備、栄養塩管理 等

② 水産資源を豊かにする



栽培漁業、資源管理 等

③ 漁業者の生活を豊かにする



ブランド化、浜の活力再生プラン、
6次産業化、担い手育成 等

④ 新鮮な魚介類を届ける



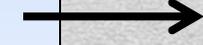
イメージアップ、PR、新たな販路開拓 等

⑤ 海や川の魅力を届ける



イベント開催、希少生物保護、
観光漁業 等

⑥ 安全・安心を届ける



地震津波対策、貝毒対策 等

取組
方向

① 海や川の環境を豊かにする

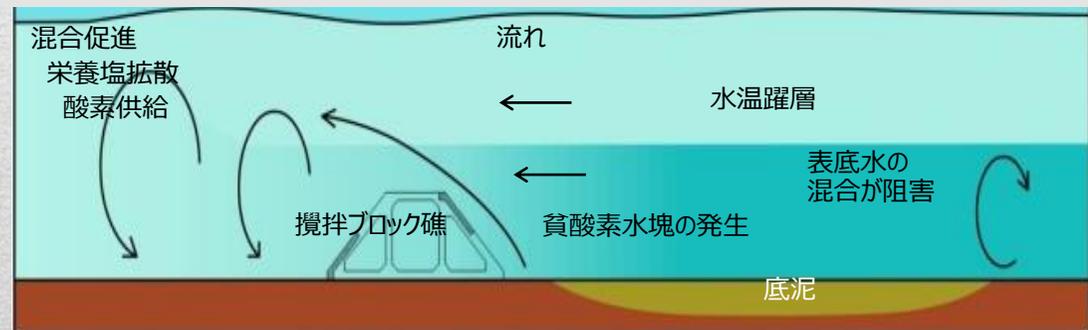
施策 1

大阪湾の漁業生産力を底上げするための広域的な 漁場整備の推進 < 攪拌ブロック礁の設置 >

- 【内容】 ・大阪湾中部海域に海水を攪拌する機能を持つブロックを設置し、南部海域の栄養塩不足解消をめざす取組み
- 【実績】 ・「攪拌ブロック礁」については、令和2年度に8基設置し、計画していた**200基**の設置完了

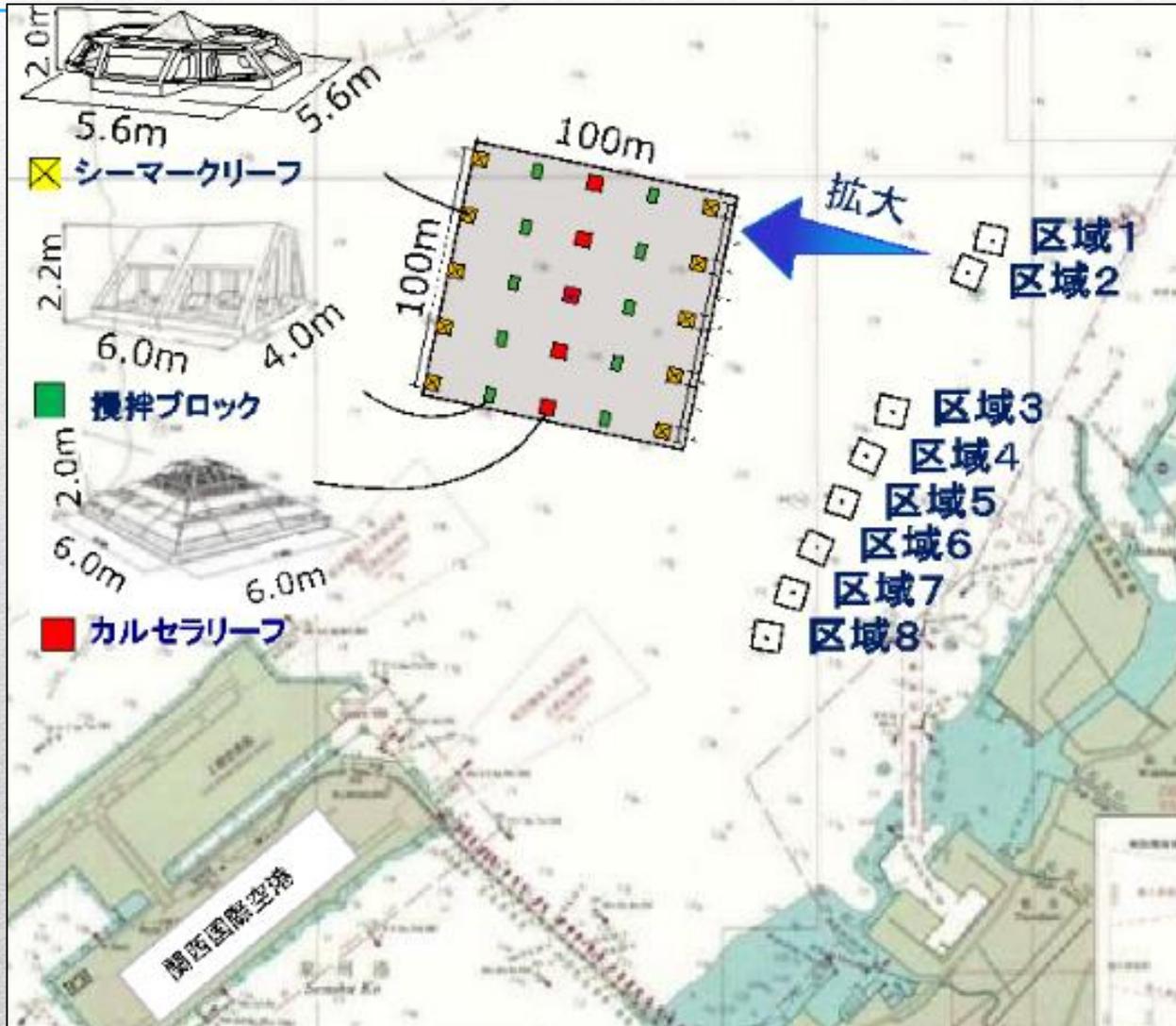


攪拌ブロック礁（主なタイプ）



攪拌ブロック礁が海水をかき混ぜるしくみ（模式図）

攪拌ブロック礁の位置 (関西国際空港周辺)



取組
方向

②水産資源を豊かにする

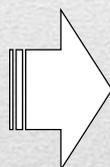
施策8

大阪湾の水産資源の増大とブランド化をめざした 栽培漁業の推進

【内容】 ・第7次大阪府栽培漁業基本計画に基づき、栽培漁業センターで種苗の生産と放流、水産技術センターでトラフグの生産・放流の技術開発を実施

■放流累積尾数

年度	単年度 目標	(千尾・千個)			
		30	元	2	
ヒラメ	100	123	103	104	
マコガレイ	100	105	62	—	
キジハタ	100	100	100	100	
アカガイ	100	55	80	80	
トラフグ	10	2.8	3.1	11	
(計)		410	385.8	348.1	295
(累積尾数)	—	1,499.8	1,847.9	2,142.9	



【実績】

令和2年度 **295千尾**を放流

【数値目標】

放流累積尾数
(令和2年度～令和6年度：計150万尾)



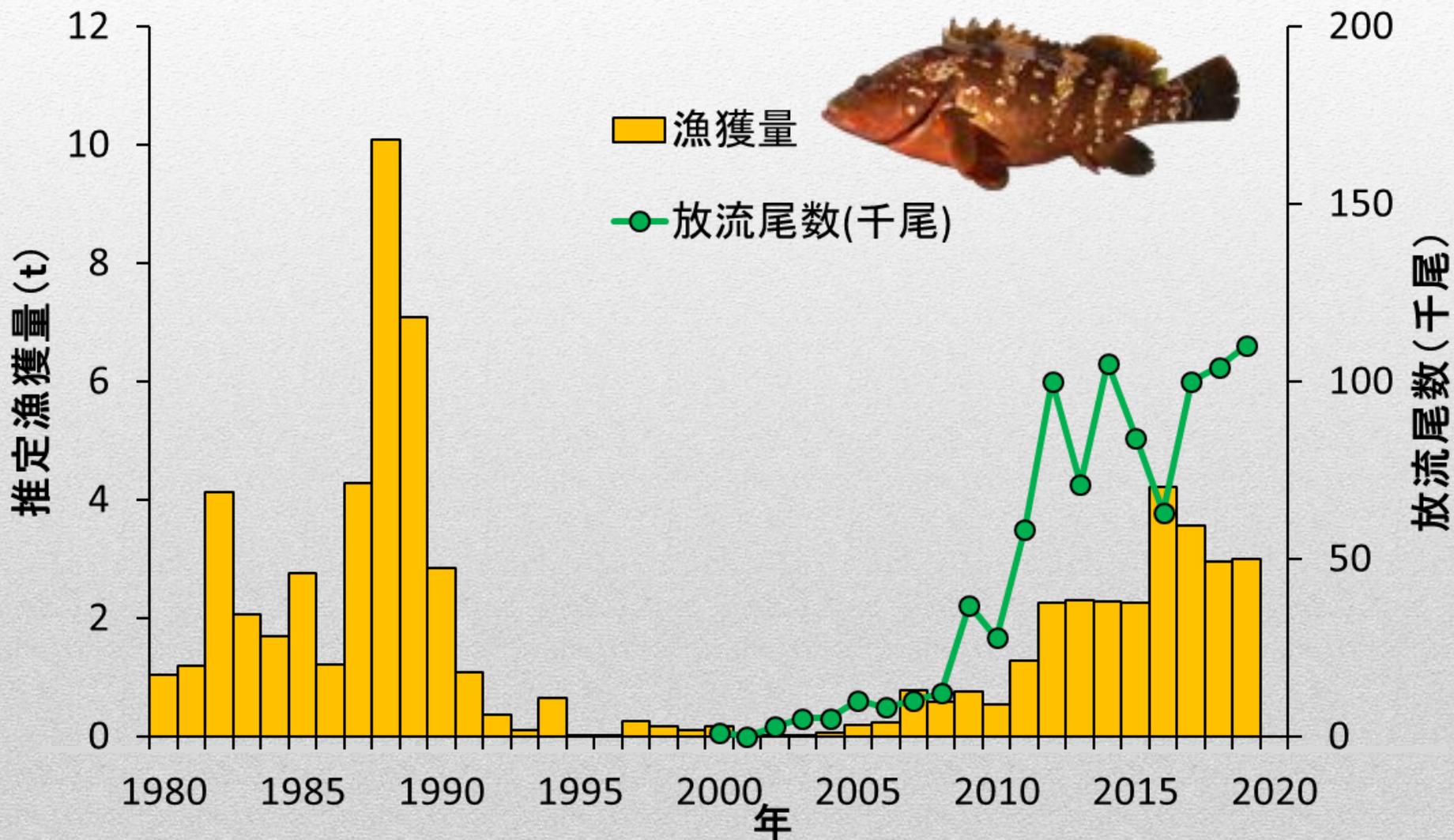
(ヒラメ)



(アカガイ)

キジハタ（あこう）の放流尾数と漁獲量の推移

(水産技術センターの調査結果より)



取組
方向

③ 漁業者の生活を豊かにする

施策13 ブランド化や6次産業化の推進による「攻めの漁業」展開

【内容】 コロナ関係の国支援事業を活用し、府内の多くの小中学校の学校給食に府内水産物の提供。



① 泉だこの唐揚げ
(河内長野市,R3.1)

② ちりめんじゃこの炒飯
(忠岡町,R3.2)

【実績】

大阪府国産農林水産物学校給食提供事業(概要)

- 《期間》 令和2年8月～令和3年3月
- 《人数》 府内36市町村／1,198校 (約53万人)
- 《数量》 国産水産物 約106トン
(うち府内産約29.4トン)
- 《事業費》 4億円
- 《メニュー》 泉だこの唐揚げ、しらす和え、はもの天ぷら 等

■大阪府国産農林水産物学校給食提供事業紹介

届けます!!大阪湾で獲れたしらすと泉だこ

新型コロナウイルス感染拡大で出荷が滞るなど影響を受けた府内漁業生産者支援を目的に、大阪府内の小中学校の給食に泉だこ、しらすの提供をすることになりました。そのため大阪府学校給食会では、学校給食の食材として選んでいるかを確認するため加工場の視察や品質チェックなどを実施し、安全・安心な物資を提供しています。

令和3年3月分まで、多くの市町村の給食に登場します。大塚の可食を届けた子供たちが大阪湾の魅力を語り、その新鮮な水産物を楽しく食べることを通じて、地元産の食材に愛着を持って頂ければ幸いです。

しらす

実施日 令和2年10月16日
実施校 岬町立小・中学校
献立内容 ごはん・肉じゃが・キャベツのしらす和え・牛乳

泉だこ

実施日 令和2年11月16日 (実施校) 能勢町立能勢小学校
献立内容 たこめし・大根のおかか和え・なると汁・牛乳

給食会だより 大阪産

取組
方向

④ 新鮮な魚介類を届ける

施策21 「大阪うみ・かわ・さかな」の魅力発信の推進

【内容】 ・インターネットやイベントを活用して、大阪産魚介類の魅力のPRを実施
・令和2年度は、コロナ関係の国支援事業を活用し、動画及びパワーポイントの食育教材を作成。

【実績】 ・小中学生向けの食育教材「なにわの海・大阪の漁業」の作成



食育動画教材「大阪湾ってすごいやん!」(約27分,多言語)
府内の全小中学校及び図書館にDVDを配布。
Youtubeでも公開 <https://youtu.be/WMijvK5oDtc>



食育ウェブ教材「お魚探検隊」(ファイルを府HPで公開)
HP : http://www.pref.osaka.lg.jp/ryutai/osaka_mon/edu.html

取組
方向

④-2 新鮮な魚介類を届ける

施策23 大消費地店舗と漁港とをつなぐ“お魚の架け橋”づくり

【内容】 ・ホテルや料理店、企業の社員食堂、スーパーで企画される大阪産フェアについて、
情報提供やP R支援を行った。

【実績】 ・大阪産魚介類の活用促進、P R



リーベルホテル アット ユニバーサル・スタジオ・ジャパン
(大阪府産スズキのアクアパツァ, R2.10-11月)



日本生命保険相互会社の社員食堂
(釜揚げしらす丼・サワラの幽庵焼き・
泉だこと胡瓜の酢の物, R2.6月と11月に各2日ずつ)

取組
方向

⑤ 海や川の魅力を届ける



施策25 「はま」と「まち」のふれあいの場の創出

【内容】 漁協が運営する観光漁業や、青空市場・朝市の情報についてPRを実施

【前半5年間の実績】

- ① 青空市場開設数
R2・3月現在：**7箇所**
- ② 青空市場来場者数
H27～R元：**約218万人**
- ③ 内水面漁業権河川利用者数
H27～R元：**約13万人**

【後半5年間の数値目標】

- ① 青空市場開設数
(R2～R6：**8箇所**)
- ② 青空市場来場者数
(R2～R6：**計250万**) ※R2集計中
- ③ 内水面漁業権河川利用者数
(R2～R6：**計18万人**) ※R2集計中

取組
方向

⑥ 安全・安心を届ける

施策28 大規模な地震、津波等に備えた漁港、海岸の整備

【内容】

○高潮対策が未了となっている7漁港海岸のうち、まず湾奥部に位置する堺(出島)漁港海岸の防潮堤の高上げ工事を令和2年度に実施。

【実績】

■高潮対策(令和2年度)

【数値目標】

漁港海岸における防潮堤の高潮対策整備の着手率
(R6時点:100%)



防潮堤

事業名	区分	漁港名	事業内容
緊急自然災害防止 対策事業債	単独	堺(出島) 漁港海岸	高潮対策 事業

⑥ 安全・安心を届ける

施策29

貝毒の発生による健康被害防止対策の徹底

【内容】

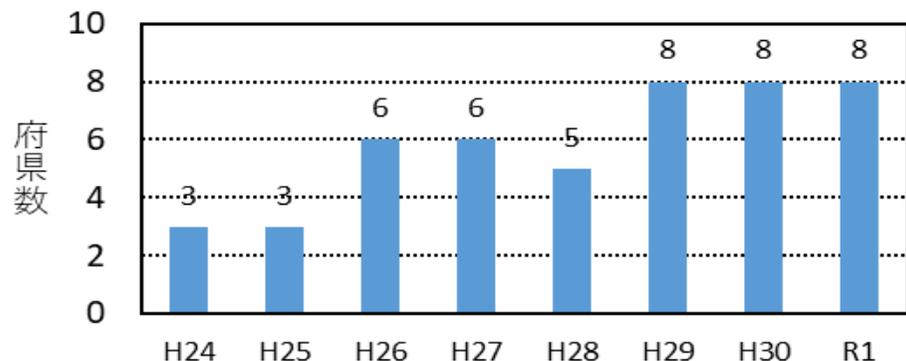
○貝毒とは、主に二枚貝が有毒プランクトンを餌として摂取することにより体内に毒を蓄積させる現象。⇒大阪府では、麻痺性貝毒が問題となっている。

○大阪湾では、貝毒による二枚貝の出荷規制の長期化により、二枚貝の漁業収入が5割程度減少するといった影響を及ぼしており、漁業者から、漁業経営への影響を軽減するための方策が強く求められている。

■ 年別貝種別採取禁止期間

貝種	H30	R元	R 2
アカガイ	2/15～9/18	2/22～8/22	3/11～5/13
トリガイ	2/15～9/12	2/27～7/19	3/26～5/13
アサリ	2/14～8/29	2/22～8/22	3/11～5/13
タイラギ	—	3/20～7/19	—
シジミ	3/7～4/25	2/27～5/8	—

規制実施府県数（瀬戸内海11府県中）



【実績】

○トリガイは有毒部と無毒部の分離が可能とされており、国のガイドラインにおいて、無毒部位については各府県が定めるガイドライン等に従い適切に処理することにより出荷可能という見解が示されていることから、大阪府で「トリガイ出荷についてのガイドライン」を作成予定。



○利用しやすい形状に加工することにより付加価値をつける。

○大阪産の高品質なトリガイの魅力をPRするチャンス⇒ブランド化を図る

コロナがプランの施策に及ぼした影響

施策21 「大阪うみ・かわ・さかな」の魅力発信の推進

【内容】 ○ 府漁連・学校給食会・水産技術センターと連携して小学校での出前授業(魚講習会)を実施

【影響】 ○ **出前授業(魚講習会)の中止**

【数値目標】

出前講習会等の開催
(令和2年度～令和6年度：計45回)



施策24

「魚庭(なにわ)の海づくり大会」など
イベントを活用した大阪漁業の発信

【内容】 ○ 平成14年から「魚庭の海づくり大会」を実施

【実績】 ○ **令和2年度は開催中止(第18回大会)**



写真①出前授業 写真②魚庭の海づくり大会

進捗状況の全体的な成果と課題

項目	R2-R6の目標	R2年度	判定(対応)
①キジハタ等放流尾数	計150万尾	295千尾	順調
②水産関係の大阪産ロゴマーク登録件数	計130店	96店	順調
③漁港海岸における海岸防潮堤の高潮対策整備の着手率	R6までに7箇所	1箇所着手(堺市) ⇒残り6箇所	順調
④6次産業化による加工品開発数	計20件	1件	遅れ
⑤後継者等新規参入者	計75件	5名	遅れ
⑥出前講習会等の開催	計45件	0回	遅れ
⑦漁場等における海ごみ回収実績	計3万m ³	R 2 集計中	—
⑧青空市場年間来場者数	計250万人	R 2 集計中	—
⑨内水面漁業河川年間利用者数	計18万人	R 2 集計中	—

【課題】

数値目標のうち、3項目に遅れが生じている。また、新型コロナウイルスの影響で、青空市場や河川利用者数の減少が考えられるため、今後、数値目標の検討等が必要になる可能性がある。